

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		スポーツ科学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		演習	
科 目 名		情報学Ⅱ		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限		後期		教室名		本館PCルーム	
担 当 教 員		BSC		実務経験と その関連資格							
《授業科目における学習内容》											
この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。											
《成績評価の方法と基準》											
出席(20%)、平常点(10%)、小テスト・課題点(70%)											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。											
《授業外における学習方法》											
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。											
《履修に当たっての留意点》											
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近なAIを知り、適正かつ有効に活用できる				AIリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	社会でのAI活用事例、AIでできること・できないこと、画像認識体験、AIの欠点や問題点、ディープラーニングの仕組み								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	AIブームの背景を知り、実際に体験を通して理解することができる				AI機械学習	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	AIブームの歴史、ディープラーニング、教師あり学習、教師なし学習、予測、分類、クラスタリング、機械学習体験								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの基本操作ができる				Excel基礎1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる				Excel基礎2 数式と関数基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作								
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる				Excel基礎3 グラフ基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し活用できる	Excel応用A データベース	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	データベースとは/データを並べ替える/フィルター/ウィンドウ枠の固定/大きな表を効率よく印刷する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	Excel応用D グラフ応用	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	折れ線グラフ/複合グラフ/100%積み上げグラフ/レーダー/スパークライン		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel基礎で習ったことを実践できる	Excelまとめ	イーラーニングテキスト でこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Excel復習問題の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる	データリテラシー	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均、中央値、最頻値、外れ値、欠損値、異常値、データの分類、相関、因果関係、疑似相関、不適切なグラフ表現		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	何を伝えるかを簡潔に示したスライドの作成の設計ができる	プレゼン基礎1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	アウトライン作成		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる	プレゼン基礎2	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	図解の活用		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	表の活用・図表の効果的な表現をすることができる	プレゼン基礎3	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	表・図表の活用		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像とグラフの効果的な活用ができる	プレゼン基礎4	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	画像とグラフの活用		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的なアニメーション効果の設定について理解し活用できる	プレゼン基礎5	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	特殊効果		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的なスライド作成の手法を理解しスライドを作成できる	プレゼン基礎6	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	抄録作成		